

## 日本科学未来館イベント「子どもから見る不思議世界探求プロジェクト」 にご参加いただいた皆様へ

2024年8月16～18日に開催された上記のイベントにご参加いただき、誠にありがとうございます。多くのお子様と保護者様にご参加いただき、大変貴重なデータを得ることができました。心より感謝申し上げます。ここでは孟の担当した「勇敢な人、子どもにはどうみえる？」というテーマの実験結果について、基礎的なデータ解析が終了いたしましたので、参加された皆様全体の傾向について報告いたします。

実験担当者：孟 憲巍 (名古屋大学)

E-mail：meng@i.nagoya-u.ac.jp

研究総括者：山口 真美 (中央大学)

### ■ 研究概要

漫画やアニメの中で、スーパーヒーローなどの登場人物が危険を顧みずに挑戦したり、戦いに挑んだりする場面をよく見かけます。そのような危険を顧みない個人は、周囲からどのように見られているのでしょうか？大人の世界では、危険を顧みない個人は周囲から強いと思われ、尊敬されることが明らかになっています (van Kleef et al., 2021)。しかし、私たちはいつから・なぜ、そのように考えているのかについてはよくわかっていません。

本研究では、子どもが危険を冒す個人と危険を冒さない個人の内、どちらをより強いと思っているのかを調査させていただきました。具体的には、危険を冒さない個人（例えば、昼間に鳥がいる真っ直ぐな道を通って家に帰る人物）と危険を冒す個人（例えば、夜にクマがいるくねくねした道を通って家に帰る人物）が登場するシナリオを子どもたちに呈示し、「右の子と左の子、どっちが強いと思う？」などの質問を行いました（図1）。子どもたちには、予め印刷された回答用紙に、自分の答えを書いて頂きました。

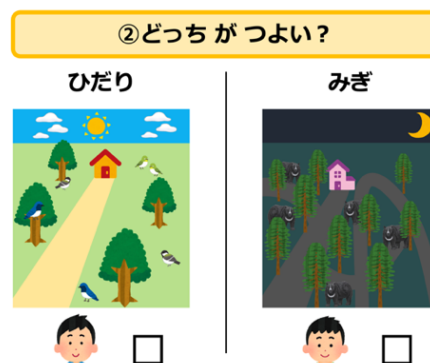


図1. 子どもに呈示したシナリオ

子どもが大人と同様に、危険を冒す個人を、危険を冒さない個人よりも優位であると考えているのでしょうか。それらの判断が年齢によって変化するのでしょうか。本研究によって、「他人を評価する心のはじまり」の一端が見えてくると期待されます。

## ■ 結果

ご参加くださった子どもたち（4～13歳児）の全体的な傾向として、子どもたちは3種類のシナリオで一貫して危険を冒す個人を、危険を冒さない個人よりも強いと評価しました（図2）。一方で、「どちらが良い子だと思いますか？」といった質問に対しては、それらのシナリオで一貫して危険を冒さない個人を、危険を冒す個人よりも良い子と評価しました（図3）。また、年齢による解答の違いはみられませんでした。

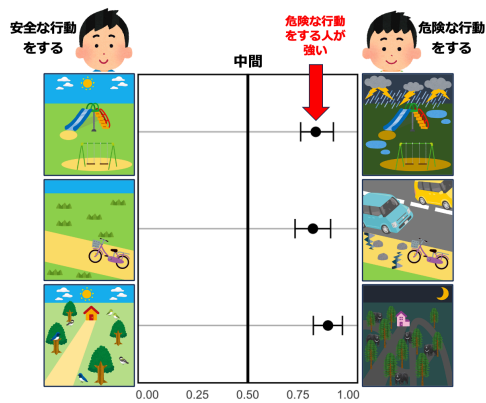


図2. 子どもの「強さ」評価

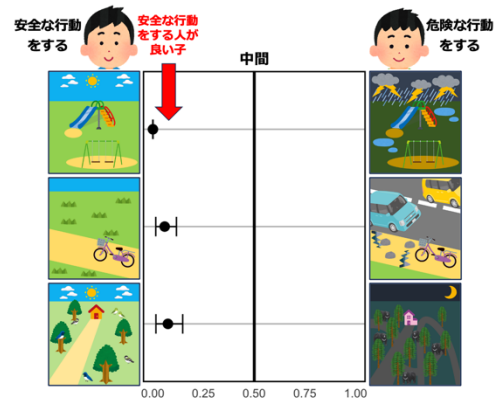


図3. 子どもの「良い子」評価

以上のことから、子どもは行為の危険性からその行為者の強さを推測していることが明らかになりました。一方で、危険を冒す個人を良い子と評価しなかった点に関しては、日常生活の中で、子どもたちが危険な遊びを行った際に、大人が注意したり、怒ったりすることで、子どもたちは、「危険な行動=良くないこと」といった規範を形成することが起因している可能性があります。今回は、主に小学生以上の子どもを対象に調査を行いました。今後は就学前児や乳児を対象に実験し、より幼い子どもでも「危険を冒す個人=強い」と評価するのかどうかを調査する予定です。